

平成23年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,701億円	11.7%
国民健康保険事業特別会計	533億5,800万円	5.0%
後期高齢者医療事業特別会計	75億5,300万円	5.0%
介護保険事業特別会計	253億6,500万円	6.4%
用地特別会計	109億7,250万円	著増
駐車場事業特別会計	6億5,470万円	32.2%
合計	2,680億 320万円	13.9%

区民一人当たりの予算額(一般会計)

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	171,438円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	34,572円
災害対策や地域活動、文化振興などに	46,657円
道路・公園整備やまちづくりに	52,986円
清掃事業や環境対策に	14,575円
中小企業に対する融資など産業経済に	8,511円
特別区債の償還などに	6,606円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	40,422円
合計	375,767円

人口は450,085人(平成23年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません

2月21日の本会議において、平成23年度各会計予算案6件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

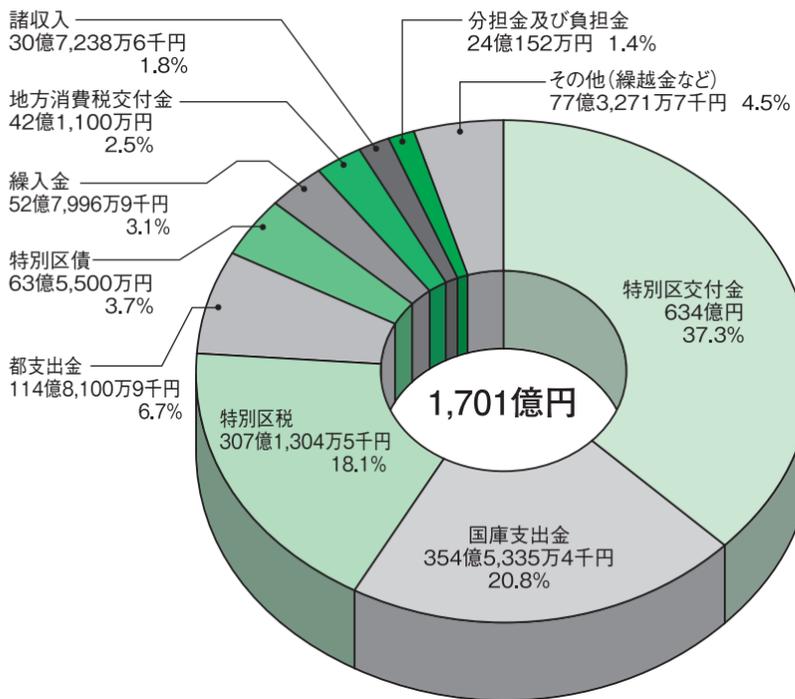
予算案は、3月3日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、11日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算案の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月29日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会

平成23年度予算を審査

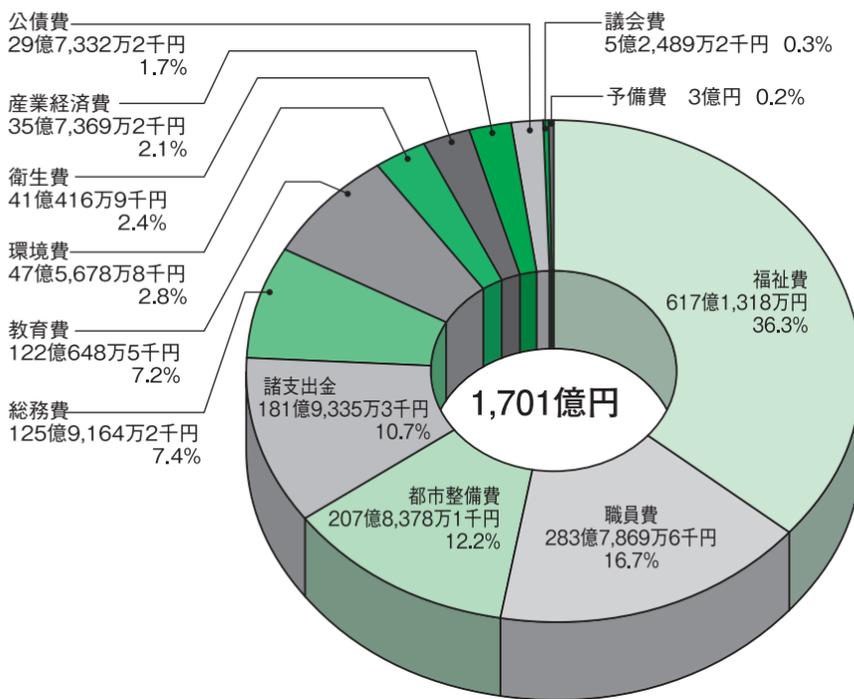
一般会計

[歳入]



※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

[歳出]



平成23年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成23年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾区議会公明党

厳しい財政環境の中、区民ニーズに応えた予算を評価

3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々、そのご家族・関係者の皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平成23年度予算案は、特別区交付金や特別区民税に微増の傾向が見られるものの、依然厳しい財政環境下にある中、積立基金や起債抑制等の財政対応能力を最大限に活用し、区民ニーズに応えた、23年度予算案として編成されたことを評価します。以下、予算案の各款項ごとに、我が会派の意見、提案を述べます。

総務費 新基本計画では、区長が掲げる「夢と誇りあるふるさと葛飾」を区民が本当に実感できる内容にしたい。また、コールセンターの開設、23年度に取り組みメールマガジン、「広報かつしか」がありますが、必要な情報をスピーディーに、キメ細かく提供することに留意することを求めます。区内企業の育成にも配慮した契約事務、土地開発公社の取得した用地の有効利用、東京理科大学の整備促進、水防対策の推進も要望します。

産業経済費 商工業、農業への産業支援、観光施策の取り組みを評価します。空き店舗などを活用した「葛飾元気野菜」の販売促進支援を要望します。

福祉費 成年後見制度の周知徹底と費用の一部助成を求めます。3人乗り自転車購入費助成事業、赤ちゃんの駅事業を評価します。保育園分園の増設、家庭福祉員の増員などに取り組み、保育待機児の解消に全力をあげてもらいたい。子ども医療費助成事業は更なる充実を求めます。生活保護法保護経費は、扶助費削減のため就労支援はもとより、扶助費の世代間連鎖防止のためにもあらゆる努力を求めます。

衛生費 地域医療連携事業経費は真に実効性のある事業となるように更なる努力を求めます。休日応急診療については区民に分かりやすい周知を徹底するよう求めます。

環境費 着実な緑化事業の推進がみられ、自然環境の保全や再生、ゴミ減量やリサイクル事業への前向きな取り組みもあり評価します。なお、ホタルの飛び交う葛飾の里づくりや、絶滅危惧種であるヒメイトトンボへの対応などで、区民の心を豊かにする街づくりを要望します。

都市整備費 発災時や復旧に不可欠な業務継続計画・管理運営への取り組みなど、安全安心な街づくりを進める姿勢がみられ評価します。また、経年による道路・公園など、都市施設の劣化に対応したバリアフリー化など、時代の要請に対応した改修・再生への取り組み、都市計画道路の整備など、住みよい葛飾づくりに取り組んでいる点を評価します。なお、時間貸し駐車場を水を活かした街づくり、小菅地域の交通アクセス、防災活動拠点の拡大、鉄道立体化事業、金町駅周辺・高砂駅周辺など街づくり事業の推進については、特段の取り組みを求めます。

教育費 スクールカウンセラーを全中学校に1人ずつ配置したことを評価します。各事業内容にユニバーサルデザインの視点で、さまざまなサービスが盛り込まれ拡充できたことも評価します。武道場の建設にあたり、安全対策を十分に検討し、設計に盛り込むよう望みます。校務システム導入の主な目的である子ども向き合う時間の確保を実効性のあるものとするを求めます。今後の校舎の改築については、財源の確保とともに時代の要請にしっかりと応えた基本計画にすることを要望します。新宿図書館センターの空き室の使用については、地元住民の方たちの意見も聞きながら決定してください。太陽光発電の設置については、子どもたちの環境教育のためにも学校施設への設置を更に進めることを要望します。

各特別会計については、これを了とし、事業の適切な執行を望みます。